

上記日程にて、担当教員面川幸子先生の「養護教諭基礎演習Ⅰ」の中での総長先生のご指導をオンラインにて見学致しました。ここにその感想を述べたいと思います。

先ず、授業全般を通して、通信システムを利用した授業であったことから、はっきりと明瞭に話され、学生が聞き取りやすいように配慮されていました。

授業の形として、問題の難易度に応じて時間を与えながら、各問題ごとに学生全員に「音読させる」「重要な部分にアンダーラインを引かせる」「暗記させる」「暗記したことを書かせる」「書いたものが合っているか確認させる」、そして、最後に面川先生が合っているかの確認のため、解答が合っていた学生に手を挙げさせていました。

問題ごとにこの形式を繰り返すことで、覚えるパターンが出来上がるため、学生が理解しやすくなると感じました。黙読については、何となく読めた気になりがちであるところを、受講者に音読させることによって、しっかり理解する段階に入れるようになって感じました。また、読めない漢字や間違っていた漢字についても正しい理解をさせるのに有効であると感じました。

授業の最後に、「本番の試験では時間制限があるので、授業でも時間を与えながら行っている」「これを繰り返すことで本番の採用試験で実力を出せる」との声掛けがありました。こうした声掛けは、学生たちにこの形式で授業を行っている意味を理解し納得させるのにおおいに助けになっていると感じました。

最後に、総長先生より、面川先生のやり方で満点を取り続ければ合格できるようになるので、この方法で勉強するようにと学生へのお声掛けをされ、学生たちへの激励をされ、教員の先生方へもこの方法をまねてやるように努力するようお話がありました。

今回、総長先生の理念を具現化した授業を見学できたことはこの上ない幸せでした。今後、この方法をもって多くの学生が教員採用試験に合格することを願うものであります。